

## 「考える会」木立地域での**新たな地域コミュニティ組織設立を選択!!**

\* 「考える会」 = 「木立地域新たな地域コミュニティ組織を考える会」

2月26日(月)、「第5回考える会」が開催されました。今回は、「新たな組織が必要かどうか」について話し合い、最終的な判断として「必要である」との結論に達し、次のステップとなる「新たな地域コミュニティ組織設立準備会」へ進むことが決まりました。

会議では、7つの班にわかれて「住民アンケート分析結果」「これまで話し合ってきたワークショップの状況」「先進地視察研修の振り返り」の3つの視点から検討し、その後「総合的にみてどうか」を話し合い、すべての班で「新たな組織が必要である」との結論に至りました。



木立地域「第5回考える会」の様子



結論を発表する片野会長



付箋には多くの前向きな意見が…

■7つの班で、これまでの議論を踏まえ個人意見を付箋に書いて発表し合いながら、各班としてまとめた総合的な結論を班長が発表、**すべての班で「新たな組織が必要である」との結果**となりました。この発表を受けて、片野和正会長が「考える会」の総意として**「設立準備会」へ進むことを決定**するとともに、**「みんなが熱意と責任を持って協力するという決意の元一致団結して次の段階に進みましょう」と**、会員の皆さまに呼びかけ、次のステップへの意気込みを示しました。

■今後は**「設立準備会」を設置**し、約1年かけて設立に向けた準備に取り組みます。

## ■木立地域新たな地域コミュニティ組織設立準備会へ■

### ※設立準備会とは？ 【新組織設立まで約1年の準備期間を予定】

「設立準備会」では、これまで「話す会～考える会」とみんなで話し合い積み上げて整理してきた「困りごとに対するやりたいこと、担い手等」について1年を目安として更に具体的に検討します。

「**どんな形の組織にするか**」「**どんなまちづくり計画を描くか**」「**県や市の補助金などをどう活用するか**」といった内容をみんなで考え、木立ならではの新しい組織を立ち上げることがその役割となります。



木立地域「第5回考える会」の様子

## ■住民アンケート調査分析結果から見る木立の特徴■

- ①ベテランが地域・組織を支えており、役員経験者が豊富な地域である。
- ②これまでの組織の運営については継続に危機感を感じている。
- ③新しいしくみづくりについては、全年代が必要だと感じている。
- ④必要な取組は世代ごとに違うことから、世代ごとに刺さる取組も大切。

今後も住み続けたいが全体で76.5%、10代～20代56%、30代～40代でも70%いる。

49%と約半数の人が役員経験ありと役員経験者が非常に多い地域である。

団体の継続については50代～70代の方が高い危機感を感じている。

困りごとについては草刈りや交通の便など生活の困りごとが上位となっている。

新たな組織などしくみづくりについては、中堅世代・ベテラン世代が特に必要性を感じている。

必要な取組は10代20代はカフェ、30代40代は空き家対策、50代～70代は移動支援、80歳以上は草刈りなどの地域のお助け隊となっている。

## 木立地域の今後の予定

### ■第6回木立地域新たな地域コミュニティ組織を考える会

→3月中【予定】・設立準備会設置に向けた話し合い

・大津留まちづくり協議会とのZoomによる遠隔交流（検討中）

問合せ先 佐伯市役所コミュニティ創生課【TEL22-4059】川野・杉田  
もしくは 木立地区公民館【TEL29-2221】安部まで